

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるstep		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 1日		R6年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R6年 11月 5日		R6年 11月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設スペースが広く、活動の場所や学習室が構造化され分かりやすい。	広いスペースを有効に活用できる。運動支援や集団活動を多く取り入れている。学校に近い学習室の環境作りをしている。	メリハリのある生活となるよう、子どもたちの動線を考え環境を整えている。学習に集中して取り組めるよう、座席や足台の高さ、職員の立ち位置等、工夫している。
2	多職種が在籍しており、それぞれの立場から子どもたち一人ひとりの支援を立案・実施している。	専門性を活かした様々な視点からの意見を職員間で共有し、よりよい支援となるよう努めている。	子どもや保護者のニーズに応じて、時には他事業所の職員からの評価やアドバイスを取り入れている。
3	子ども同士の関わりが多く、職員も交えた活発な活動を大人数で楽しんでいる。	特性や発達段階を考慮しながら、広いスペースを使って全体でできる活動内容を立案している。	活動や遊びが固定されないよう、常に情報を収集し、子どもたちが笑顔で楽しめることを工夫している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンや着替えに使う個室がない。	既存の施設を利用しているため。	パーティションの活用。 学習室を時間を区切って利用し、必要な子どもには他児と別時間で個別対応している。
2	歩いて行ける場所に公園や広場がない。	近くに交通量の多い道路があり、横断ができない。	長期休みや早帰りには車を使って公園や広場に出かけ、子どもたちに活動の場を提供している。
3	当事業所以外の子どもの交流がない。	放課後の時間が限られている。専門的支援やSST等を重視し、時間を割いているため。	長期休み等には、地域行事の参加や公共施設の利用を積極的に行う。